

問題別調査結果 [英語「話すこと」] ※当日・期間内実施合算
江戸川区立松江第二中学校一生徒

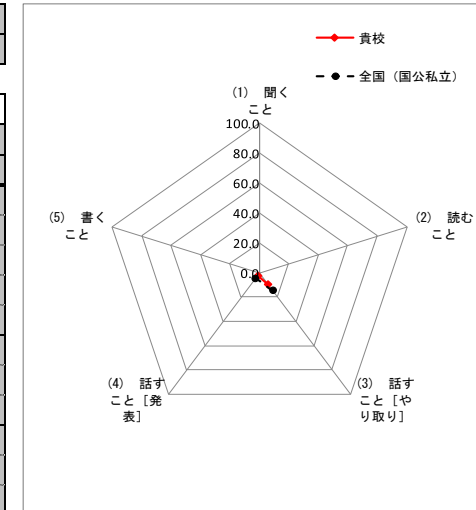
・以下の集計値／グラフは、4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。
(* がついているところの「全国（国公立）」の値は、実施状況等を考慮した統計的補正をかけた全国値として推定されたもの。)

集計結果

対象生徒数	江戸川区立松江第二中学校	全国（国公立）
	92	814,666

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)*		
			貴校	全国（国公立）	
全体			5	8	12.4
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	0			
	(2) 読むこと	0			
	(3) 話すこと [やり取り]	4	9.0	14.5	
	(4) 話すこと [発表]	1	2.2	4.2	
	(5) 書くこと	0			
評価の観点	知識・技能	3	8.0	13.9	
	思考・判断・表現	2	7.1	10.1	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	0			
	短答式／口述式	3	8.0	13.9	
	記述式／口述式	2	7.1	10.1	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>*



<現状把握>

- ・筆記試験よりも正答率が低く、「話すこと」に関する問題に解答すること自体に慣れておらず、すべて10%以下にとどまっている。
- ・特に「話すこと [発表]」の項目が2%と非常に低く、プレゼンテーションのような形で、まとまった英文を自分で考えて話す能力に課題がある。

<指導改善のポイント>

- ・パフォーマンステストの実施などを通して、「話すこと」に関する問題がどのようなものなのかを生徒に実感させる。
- ・授業内でのSmall Talkなどの帯活動を通して、Speaking活動(やりとり)に対する苦手意識を取り除き、自信をもって話すことができるように指導する。
- ・各学期に1回以上Speaking活動(発表)を行い、まとまった英文を自分で考えて話す機会を確保する。

